

明智鉄道 きのこ列車の旅 ～新たなる発見と思いを乗せて～



2024年10月31日/晴れ

37期 溝口百合子

JR大曾根から恵那を経由し明智鉄道きのこ列車に乗り【大正村】のある明智駅迄2時間弱の旅である。名古屋からは遠いようで意外と近い。一時は廃止されようとした明智線は第三セクター方式で生き残り、その後様々なイベント列車などを企画し、今や予約がすべて埋まるほどの人気を博している。



さて、今日のお楽しみ【きのこ列車】のお弁当は…

■ 飽食の時代と昆虫食

こちらのお弁当が、地元の食材をふんだんに取り入れた料理である。寒天入りだし巻き卵や松茸より美味しいです、と説明されたあみ茸、黒皮茸等の他にきのこご飯と土瓶蒸しが付いた豪華な物である。さて右上に鎮座する黒っぽい物は、何でしょうか…（赤丸でかこんだもの）

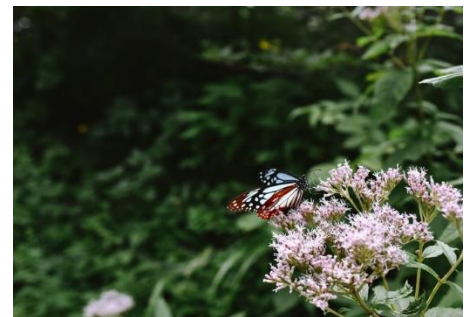
正体は**イナゴの佃煮!!**ガイドさんから「目をつぶって食べてください。エビを食べてると思って!!」

私は食す勇気を持てずじまいではあったが、近い将来予測される食糧危機においては高たんぱく質源の昆虫が重要な日常食となるだろう。



■ アサギマダラに遭遇した奇跡

アサギマダラは、渡りをする蝶として話には聞いていたがこの時期に2000キロも南下し台湾や南西諸島にまでも到達するそうだ。ガイドさんから「今日も飛んでいます。」と言われたが大正ロマン館の帰り道、フジバカマの花畑の上をひらひらと優雅に飛ぶ1頭のアサギマダラに出会えた。この子が何千キロも旅をするのか！と無事を祈り出会えた事に感謝した。（*写真は無料のフリー素材利用規約に同意し掲載）



32期中島さん

34期柴田さん

素敵な企画

有難うございました

